MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売化粧パネル フィルター自動清掃ユニット据付工事説明書

PLP-U160CE＊　（フィルター自動清掃ユニット）
PLP-P160EWFC＊（フィルター自動清掃ユニット用ムーブアイセンサーパネル）
PLP-P160EWC＊　（フィルター自動清掃パネル）

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
  また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

改造は、絶対にしない。
- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
  改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。
- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。
- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

小部屋に据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。
- 限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。
  万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。
  お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。
- 取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取り付ける。
- 端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ホコリ・水等により、火災・感電の原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
- 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。
- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けをする前に（環境）　⚠注意

特殊環境には使用しない。
- 油（機械油を含む）・蒸気・硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。
- 保存物の品質低下等の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据え付けない。
- 湿度が80％を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。
  また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。
- インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

次の場所では、使用しないでください。

フィルター自動清掃ユニットは、下記のような環境下ではご使用いただけません。
フィルター自動清掃を行ってもホコリが十分に取れず、フィルターの目詰まりや故障の原因になることがあります。（特に、油分や粘質を持ったホコリが発生する場所）
- 油煙が発生するところ〈飲食店、調理器がある小売店、調理場等と空間的につながっている場所、工場など〉
- 湿気の多いところ〈飲食店、銭湯やスポーツ施設の脱衣場・更衣室、エステ、工場など〉
- タバコの煙を多く吸い込むところ〈喫煙所、パチンコ店、ゲームセンター、カラオケ店、ホテルなど〉
- 細かなホコリや粉塵が多く発生するところ〈脱衣場・更衣室、衣料品店、病院、介護施設、保育施設、スポーツ施設、食品工場など〉
- 人の出入りや扉の開閉が多いところ（砂塵が多量に発生する場所など）〈店舗の出入口付近、コンビニエンスストア、高速道路のSA・PAなど〉
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室、理髪店、クリーニング店など〉

また、24時間空調の場合、1日1回約10分フィルター自動清掃のために空調運転を停止します。厳密な温度管理を必要とする用途でのご使用は避けてください。

据付（移設）工事をする前に　⚠注意

エアコンを水洗いしない。
- 感電・発火の原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う。
- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。
  PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
  素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は、確実に行う。
- 梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをするおそれがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。
- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

電気工事をする前に　⚠注意

電源には、必ず漏電遮断器を取り付ける。
- 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

電気配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱・火災等の原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
- 断線したり、発熱・火災等の原因になります。

アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

正しい容量のブレーカー〈漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線用遮断器〉を使用する。
- 大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。
- 感電・故障や動作不良の原因になります。

試運転をする前に　⚠注意

パネルやガードをはずした状態で運転をしない。
- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
- 感電の原因になります。

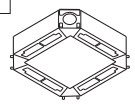
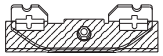
運転中の冷媒配管に素手で触れない。
- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。
  素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

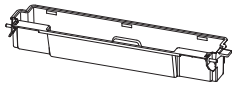
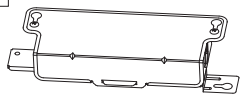
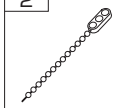
運転停止後、すぐに電源を切らない。
- 必ず5分以上待ってください。
  水漏れや故障の原因になります。

化粧パネル取付時に本据付工事説明書を使用しますので、必ず保管してください。

1. 部品の確認

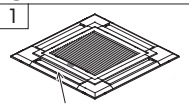
自動清掃ユニット（この箱の中には本説明書と下記部品が入っています）

品名	① 自動清掃ユニット	② 座付ネジ	③ ネジ	④ 化粧パネル固定用金具
個数	1	4　M5×0.8×25	8　M5×0.8×12	4　断熱材付き
形状				

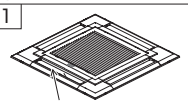
⑤ ダストボックス	⑥ 制御用電気品箱	⑦ ネジ	⑫ ファスナー
1	1	2　4×12	2
			

化粧パネル（自動清掃ユニットとセットでご購入頂いた化粧パネルには下記部品が入っています）

標準パネルの場合

品名	⑧ 化粧パネル	⑨ 据付用ゲージ
個数	1	1
形状	 上下風向ベーン	（4分割にして使用）

ムーブアイセンサーパネルの場合

品名	⑧ 化粧パネル	⑨ 据付用ゲージ	⑩ ネジ	⑪ ムーブアイセンサーコーナーパネル
個数	1	1	1　4×16	1
形状	 上下風向ベーン	（4分割にして使用）		

- 上下風向ベーンに無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。
- ムーブアイセンサーコーナーパネル ⑪ のレンズ部分に無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。

お 知 ら せ

制御基板のコネクター位置については、室内ユニットの電気配線図をご参照ください。

2. 吹出口の配置選択

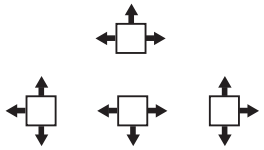
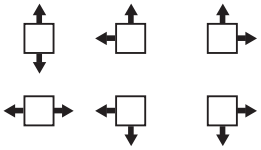
この化粧パネルは、吹出方向を11パターン選択することができます。
吹出方向に応じて、天井高さの設定を実施してください。

※工場出荷時の状態 ── 吹出口数 ── 4方向
　　└ 天井高さ（風量） ── 標準

- 吹出方向のパターンを選択します。1 方向吹出しはできません。

※吹出口数を変更する場合は、別売の吹出口シャッタープレートを手配してください。
吹出口シャッタープレートは、室内ユニット本体に取り付けますので、必ず自動清掃ユニットを室内ユニット本体へ取り付ける前に作業してください。

※高温・多湿環境での 2 方向選定は行わないでください。(露付き・露たれの原因になります)

	4方向	3方向	2方向
吹出方向のパターン	(1パターン) 工場出荷時の状態	(4パターン) ユニット本体の吹出口の1ヶ所をシャッタープレートでふさぐ 	(6パターン) ユニット本体の吹出口の2ヶ所をシャッタープレートでふさぐ 

- 吹出口数及び据え付ける天井高さに応じて設定を変更します。

※変更しないと室内ユニットの異常が発生したり、お客様に不快感を与えるおそれがあります。

※高温・多湿環境での静音 (低天井) 設定は行わないでください。(露付き・露たれの原因になります)

1）組合せ室内ユニットがスリムエアコン(スリムKは除く)の場合
リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の 機能選択 の項
もしくは、室内ユニット本体に付属してあります据付工事説明書の リモコンによる機能選択 の項をご覧ください。

2）組合せ室内ユニットがマルチエアコン (スリムKを含む) の場合
室内ユニット本体の制御基板のスイッチを下表により設定してください。
<天井高さ及び吹出口数の対応>

ユニット本体形名			22～90形						112～160形					
天井高さ			低天井		標準		高天井		低天井		標準		高天井	
吹出口数			SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2
			OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
4方向	SW21-3	OFF	2.5m		2.7m		3.5m		2.7m		3.2m		4.5m	
	SW21-4	ON												
3方向	SW21-3	OFF	2.7m		3.0m		3.5m		3.0m		3.6m		4.5m	
	SW21-4	OFF												
2方向	SW21-3	ON	3.0m		3.3m		3.5m		3.3m		4.0m		4.5m	
	SW21-4	OFF												

※ ［　］印部以外はスイッチの設定が必要です。（ ［　］印部は、工場出荷時の状態です）

- 据付環境によってダストボックスごみ捨てサインの時期を変更します。

工場出荷時の設定は、一般的な事務所や店舗を想定しており、約5年に1回ダストボックスのごみ捨てサインが表示されます。
据付環境によってダストボックスが満杯になる時期に差がありますので、下記表に従って環境に応じた設定に変更してください。

据付環境	スリムエアコン（スリムKは除く）の場合 リモコンからの機能選択設定		マルチエアコン（スリムKを含む）の場合 室内ユニット基板設定		ダストボックスごみ捨てサイン表示時期	工場出荷設定
	モード番号	設定番号	SW1-2	SW1-3		
ホコリが多い環境	07	01	ON	OFF	清掃回数300回またはファン運転積算3,000時間	
標準		02	ON	ON	清掃回数1,000回またはファン運転積算10,000時間	●
ホコリが少ない環境		03	OFF	ON	清掃回数1,500回またはファン運転積算15,000時間	

〈設定方法〉リモコンからの機能選択設定は、リモコンに付属してあります据付工事説明書の 機能選択 の項
もしくは、室内ユニット本体に付属してあります据付工事説明書の リモコンによる機能選択 の項をご覧ください。

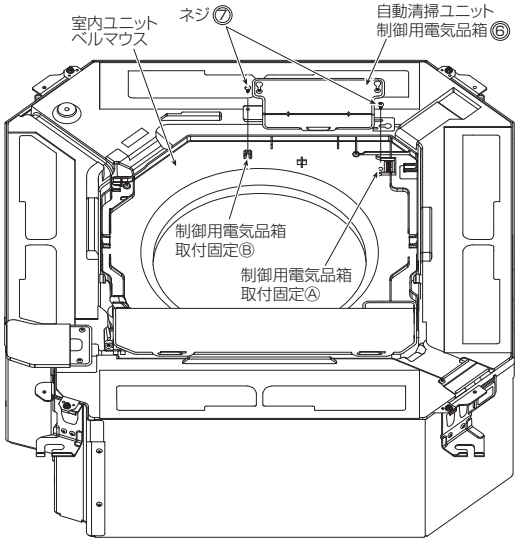
3. 室内ユニット本体の取付け

●室内ユニット本体に自動清掃ユニット制御用電気品箱⑥を取り付けます。
自動清掃ユニット制御用電気品箱⑥の取付けは、室内ユニット据付前に行ってください。
室内ユニット据付後の取付けは、難作業となります。

（1）制御用電気品箱取付固定Ⓐ側から
ネジ⑦にて固定します。
（2）制御用電気品箱取付固定Ⓑ側を
ネジ⑦にて固定します。

お願い

ネジ⑦を締め付ける際にはトルクを以下の範囲内で締付けてください。インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。
取付固定Ⓐ側：トルク 1.4～1.7N・m
取付固定Ⓑ側：トルク 0.8～1.1N・m
● 部品が破損する原因になります。

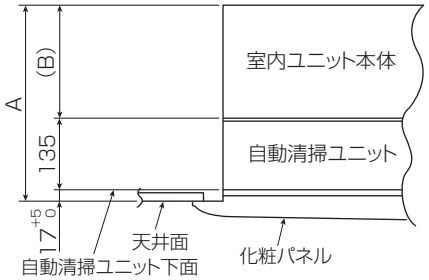


●自動清掃ユニットを取り付ける前に室内ユニット本体の現地配線（電源・内外接続線・リモコン線等）を施工してください。
自動清掃ユニットを取り付けた後では作業ができません。
●室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、取り付けてください。取付けに際し、以下の点にご注意ください。

（1）天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860×860～910×910
（2）据付けには下図のような寸法が必要です。

お願い

配管接続部には点検口を設置する。
● 天井内及び埋設配管の接続部には、点検が可能なように点検口等を設けてください。

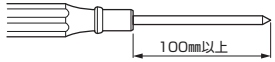


室内ユニット	A	(B)
小形機種	393	241
大形機種	433	281

※ただし、ユニット天面と天井スラブ等の間は、7㎜以上 開けてください。

4. 取付前の準備

※本体取付け/とりはずしの際には、ドライバービット長さ100㎜以上のものを使用してください。

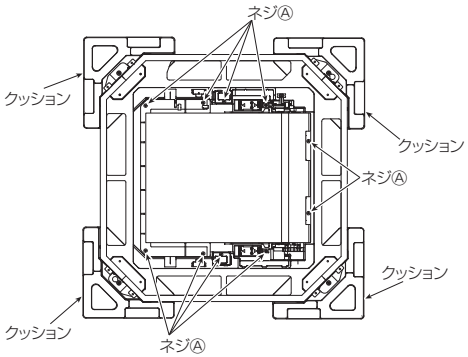


（1）自動清掃ユニット①

● 自動清掃ユニット①を梱包箱から取り出し、自動清掃ユニット①のオゾン装置電気品箱の近傍に固定しているリード線のファスナー2ヶ所をとりはずしてください。
● 梱包で使用されていたクッションを利用し、自動清掃ユニット①を下図のように置きます。
（クッションを利用されずに置かれますと電気品箱破損のおそれがあります）

フィルターレールユニット部のとりはずし

● ネジⒶ（緑色）10本をとりはずします。



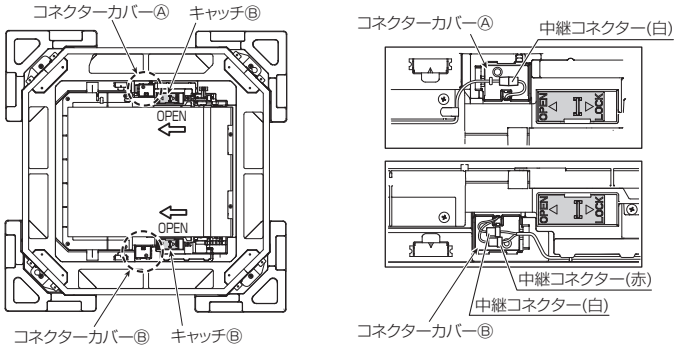
お願い

お客様自身で塗装はしないでください。
● 性能を著しく低下させたり、部品破損等の原因になります。塗装は、お買い上げの販売店にご相談ください。

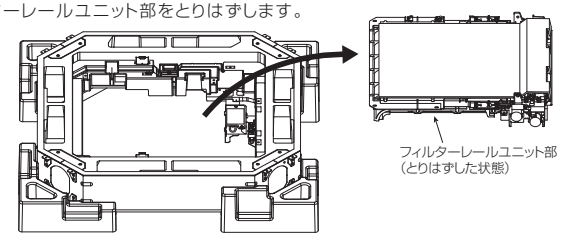
お願い

ネジⒶ（緑色）以外のネジをとりはずさないでください。
● フィルター自動清掃が正常に動作しない原因になります。

● コネクターカバーⒶを開け、中継コネクター(白)をとりはずします。
● コネクターカバーⒷを開け、中継コネクター(赤/白)をとりはずします。
● キャッチⒷ(緑色) 2ヶ所をOPEN方向へスライドします。



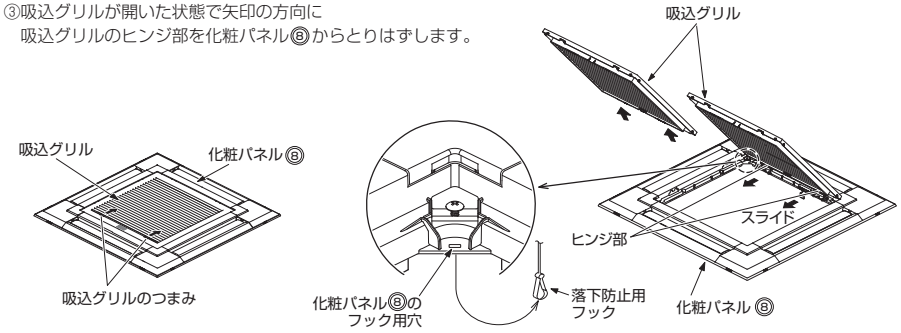
● フィルターレールユニット部をとりはずします。



(2) 化粧パネル⑧

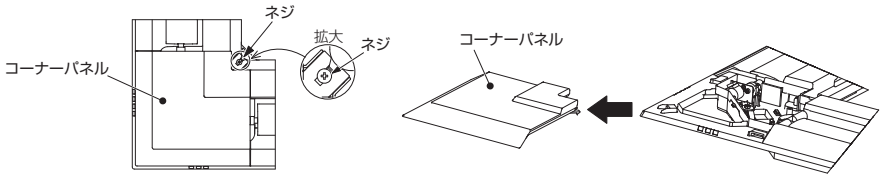
吸込グリルのとりはずし

①吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドし、吸込グリルを開けます。
②落下防止用のフックを化粧パネルからとりはずします。
※吸込グリル側のフックははずさないでください。
③吸込グリルが開いた状態で矢印の方向に
吸込グリルのヒンジ部を化粧パネル⑧からとりはずします。

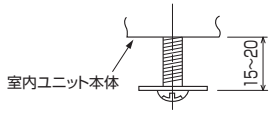


コーナーパネルのとりはずし

コーナー部のネジを緩め、コーナーパネルを矢印の方向へスライドし、コーナーパネルをとりはずします。



5. フィルター自動清掃ユニットの取付け



座付ネジ②取付詳細

(1) 自動清掃ユニット①仮止め

※必ず二人で作業を実施してください。

- 室内ユニット本体の右図の位置(ドレン配管コーナー部とその対角)に付属の座付ネジ②を2本取り付けます。
- 自動清掃ユニット①のダルマ穴部を座付ネジ②に引っ掛け仮止めします。
(自動清掃ユニットのオゾン装置が室内ユニット電気品箱の対辺側になるように取り付けてください)

(2) 自動清掃ユニット①固定

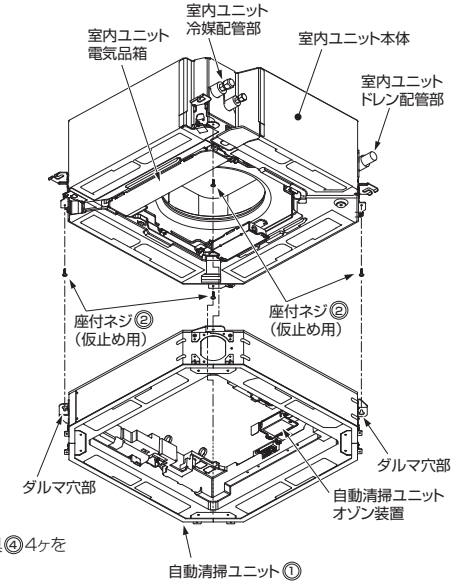
- 仮止めした座付きネジ②2本と、残りの座付きネジ②2本を仮締めし、自動清掃ユニット①の位置が合ったことを確認した後、座付きネジ②4 本を固定します。

お願い

4ヶ所の座付ネジ②の仮締めを行ってください。
- 仮締めせずに固定しますと、座付ネジ②が破損したり、風もれの原因になります。

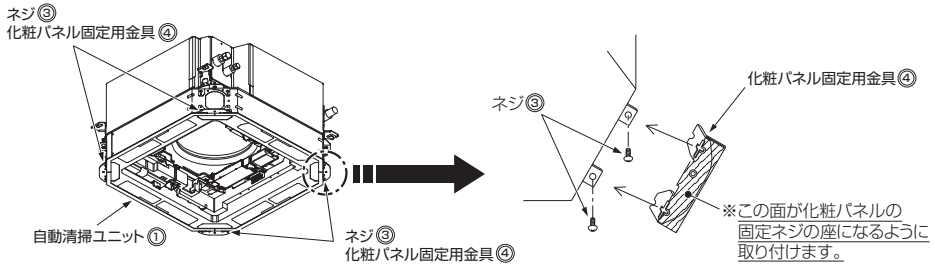
お願い

座付ネジ②を締め付ける際にはトルク2.8~3.6N·mの範囲内で締付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。
- 部品が破損する原因になります。



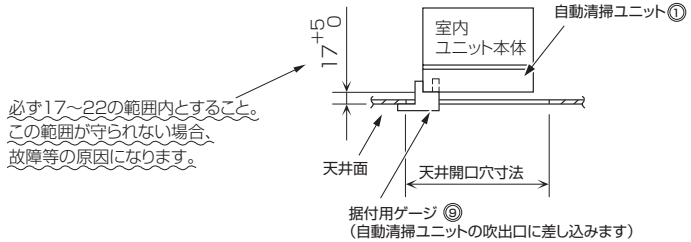
(3) 化粧パネル固定用金具④の取付け

- 自動清掃ユニット①の各コーナ部に、化粧パネル固定用金具④4ヶを ネジ③8本にて固定します。(下図参照)



(4) 据付高さの調整

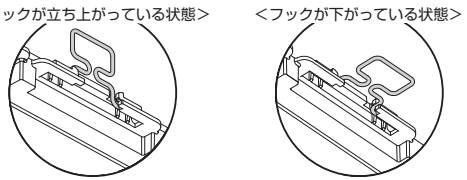
- 下図のように化粧パネル付属の据付用ゲージ⑨にて、天井面と自動清掃ユニット①の高さ位置を再調整します。

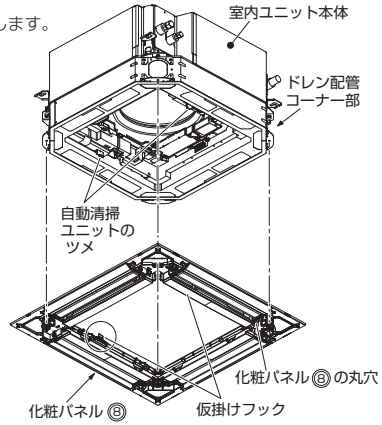


6. 化粧パネル⑧の取付け

(1) 化粧パネル⑧仮掛けの準備

化粧パネル⑧の仮掛けフック2ヶ所が立ち上がっていることを確認します。



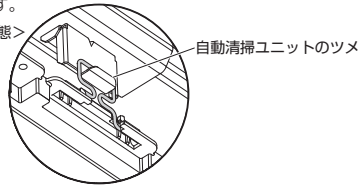


(2) 化粧パネル⑧の仮掛け

室内ユニット本体のドレン配管コーナー部と化粧パネル⑧の丸穴があるコーナーの位置を合わせ、化粧パネル⑧の仮掛けフックを自動清掃ユニットのツメに引っ掛け、仮掛けします。

- この時、化粧パネル⑧のリード線を室内ユニット本体と化粧パネル⑧の間にはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、化粧パネル⑧に無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

＜化粧パネル⑧仮掛け状態＞



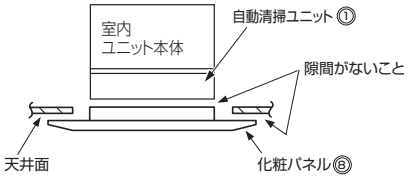
(3) 化粧パネル⑧の固定

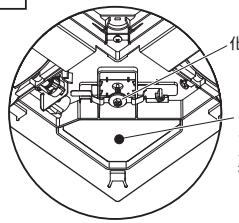
化粧パネル⑧の各コーナー部に組込みのネジを締め付けて、室内ユニット本体に化粧パネ⑧ を固定します。

- この時、室内ユニット本体と化粧パネル⑧、及び化粧パネル⑧と天井面との間に隙間がないようにしてください。

お願い

ネジを締め付ける際にはトルク2.8～3.6N·mの範囲内で締付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。
- 部品が破損する原因になります。



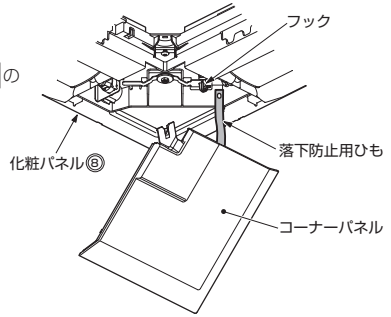


- 天井との隙間が生じた場合
  化粧パネル⑧を取り付けたまま、室内ユニット本体の据付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。

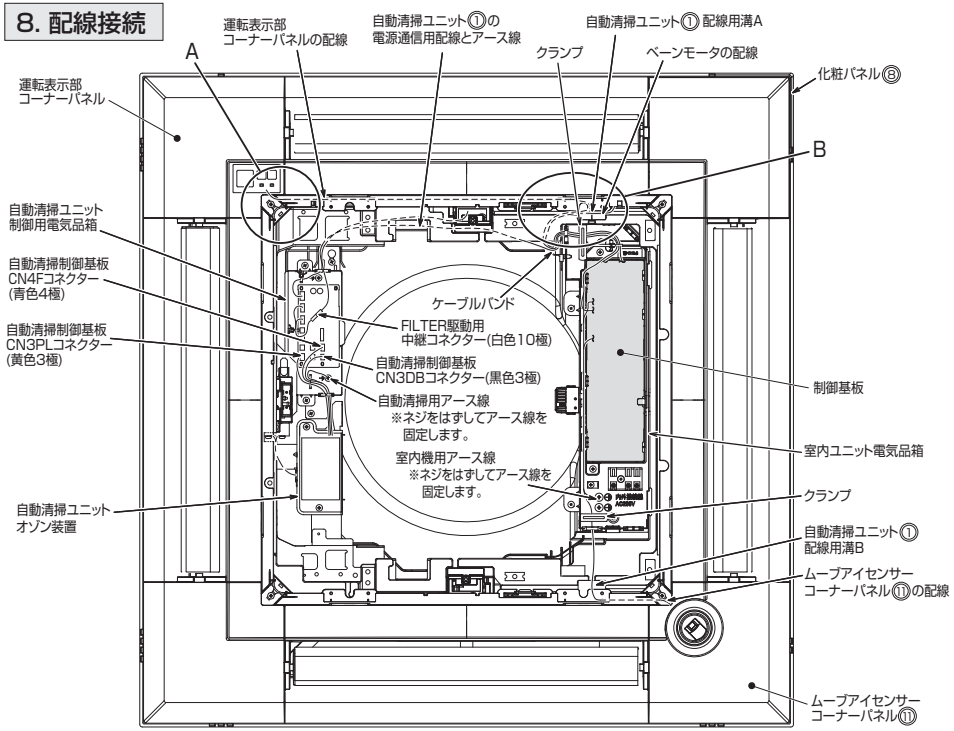
7. コーナーパネルの取付け

コーナーパネルの取付けは、4. 取付け前の準備 (2) 化粧パネル⑧ の項と逆手順で行います。

- 落下防止用のひもが付いているコーナーパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。
  ※確実に引っ掛けていないと、コーナーパネルが運転中に落下するおそれがあります。

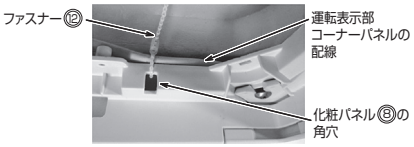


8. 配線接続



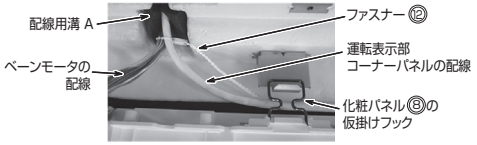
A部 詳細(据付状態)

運転表示部コーナーパネルの配線を化粧パネル⑧の角穴にファスナー⑫で固定します。
固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。



B部 詳細(据付状態)

運転表示部コーナーパネルの配線は化粧パネル⑧の仮掛けフックの裏側を通るように配線してください。運転表示部コーナーパネルの配線とベーンモータの配線をファスナー⑫で固定します。固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。



(1) 自動清掃ユニット制御用電気品箱への配線接続

- 自動清掃ユニットオゾン装置の配線を自動清掃制御基板のCN4Fコネクター(青色4極)、CN3PLコネクター(黄色3極)、CN3DB コネクター(黒色3極)に必ず接続します。
- 自動清掃ユニットオゾン装置のアース線を自動清掃ユニット制御用電気品箱内に固定します。
- 自動清掃ユニット①のフィルター駆動用中継コネクター(白色10極)を自動清掃制御基板の中継コネクター(白色10極)に必ず接続します。

(2) 自動清掃ユニット①の電源通信用配線接続

- 自動清掃ユニット①の電源通信用配線を室内ユニット本体制御基板のCN4Gコネクター(青色4極)に必ず接続します。
- 配線はたるみの無いように室内ユニット本体のベルマウスのツメに引っ掛けて、ケーブルバンド及びクランプで固定します。
- 室内機用アース線は室内ユニットの電気品箱に固定します。

⚠注意 アース工事を行う。
- アースが不安定な場合は、感電の原因になります。

(3) ベーンモータの配線接続

●化粧パネル⑧のベーンモータの配線を室内ユニット本体制御基板のCNVコネクター(白色20極)に必ず接続します。

お願い

制御基板のコネクタに対し垂直に接続してください。
また、リード線を引っ張らないでください。
● 動作不良や破損の原因になります。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット電気品箱のケーブルバンド及びクランプで固定します。

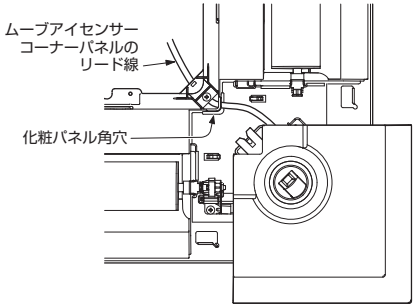
(4) 運転表示部の配線接続(標準取付位置への取付けの場合)

●運転表示部コーナーパネルの配線を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクター(白色9極)に必ず接続します。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット電気品箱のケーブルバンド及びクランプで固定します。

(5) ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪の配線接続(標準取付)

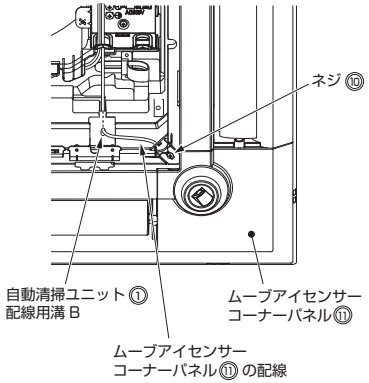
●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪のリード線を化粧パネルの角穴に通します。



●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪の配線を室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクター(白色4極)、CN5Yコネクター(白色5極)に必ず接続します。

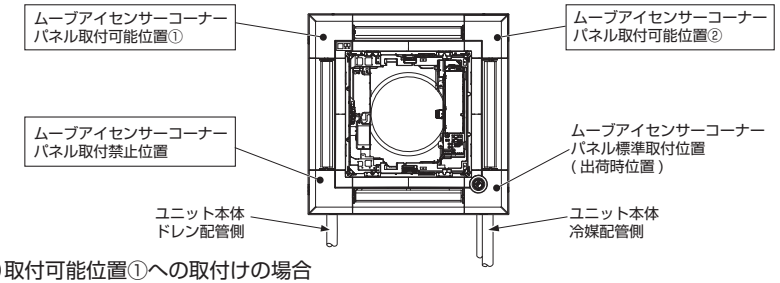
●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Bに通し、室内ユニット電気品箱のクランプで固定して電気品箱内の側面を取り回します。

●ムーブアイセンサーコーナーパネルは付属のネジ⑩で化粧パネル⑧に固定します。

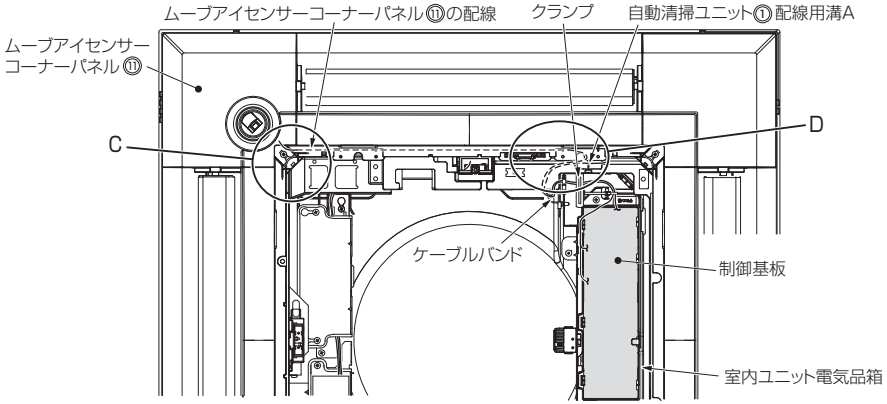


9. ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪取付け (標準取付位置以外への取付けの場合)

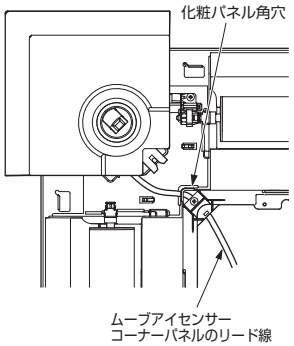
●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪は標準取付位置以外の下記2ヶ所にも取付可能です。



(1)取付可能位置①への取付けの場合

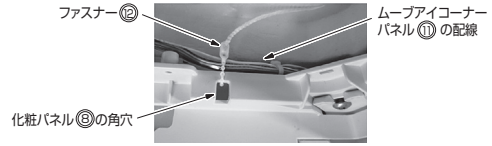


●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪のリード線を化粧パネルの角穴に通します。



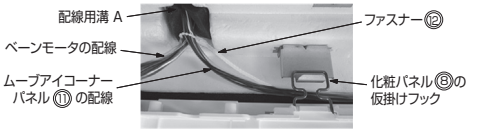
C部 詳細(据付状態)

ムーブアイコーナーパネル⑪の配線を化粧パネル⑧の角穴にファスナー⑫で固定します。固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。



D部 詳細(据付状態)

ムーブアイコーナーパネル⑪の配線は化粧パネル⑧の仮掛けフックの裏側を通るように配線してください。ムーブアイコーナーパネル⑪ の配線とベーンモータの配線をファスナー⑫で固定します。固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。



●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪の配線を室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクター(白色4極)、CN5Yコネクター(白色5極)に必ず接続します。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝 A に通し、室内ユニット電気品箱のケーブルバンド及びクランプで固定して電気品箱内の側面を取り回します。

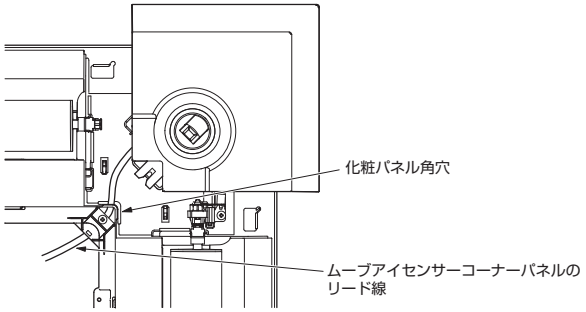
●余った配線は室内ユニット本体の電気品箱内に収めます。

●ムーブアイセンサーコーナーパネルは付属のネジ⑩で化粧パネルに固定します。

9. ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪取付け（標準取付位置以外への取付けの場合） のつづき

(2)取付可能位置②への取付けの場合

●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪のリード線を化粧パネルの角穴に通します。

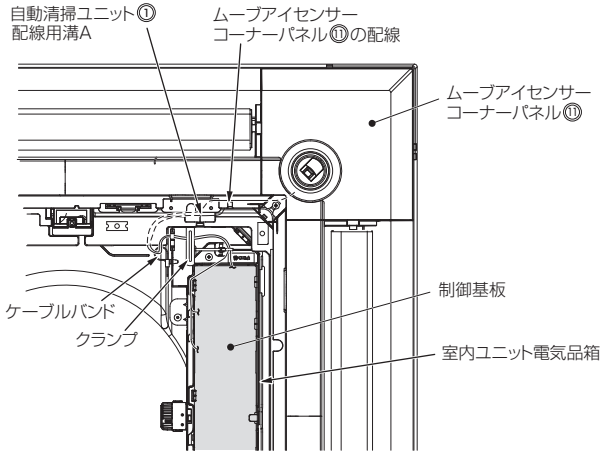


●ムーブアイセンサーコーナーパネル⑪の配線を室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクター（白色4極）、CN5Yコネクター（白色5極）に必ず接続します。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝 A に通し、室内ユニット電気品箱のケーブルバンド及びクランプで固定して電気品箱内の側面を取り回します。配線用溝 A 部にて、12 ページの図示 D 部詳細と同じようにムーブアイセンサーコーナーパネル⑪の配線とベーンモータの配線をファスナー⑫で固定します。
固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。

●余った配線は室内ユニット本体の電気品箱内に収めます。

●ムーブアイセンサーコーナーパネルは付属のネジ⑩で化粧パネルに固定します。



●ムーブアイセンサーコーナーパネル位置を標準取付位置以外へ変更した場合

1)組合せ室内ユニットがスリムエアコン(スリムKは除く)の場合

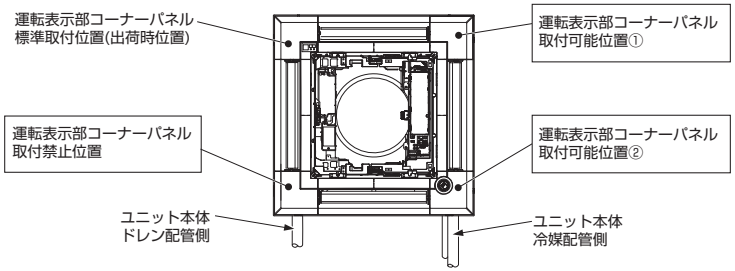
リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の 機能選択 の項
もしくは、室内ユニット本体に付属してあります据付工事説明書の リモコンによる機能選択 の項をご覧ください。

2)組合せ室内ユニットがマルチエアコン (スリムKを含む) の場合

室内ユニット本体に付属してあります据付工事説明書をご覧ください。

10. 運転表示部コーナーパネル取付け（標準取付位置以外への取付けの場合）

●運転表示部コーナーパネルは標準取付位置以外の下記2ヶ所にも取付可能です。



(1)取付可能位置①への取付けの場合

●運転表示部コーナーパネルの配線を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクター（白色9極）に必ず接続します。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝Aに通し、室内ユニット電気品箱のケーブルバンド及びクランプで固定します。
配線用溝 A 部にて、10 ページの図示 B 部詳細と同じように運転表示部コーナーパネルの配線とベーンモータの配線をファスナー⑫で固定します。固定後、ファスナー⑫の余分はカットしてください。

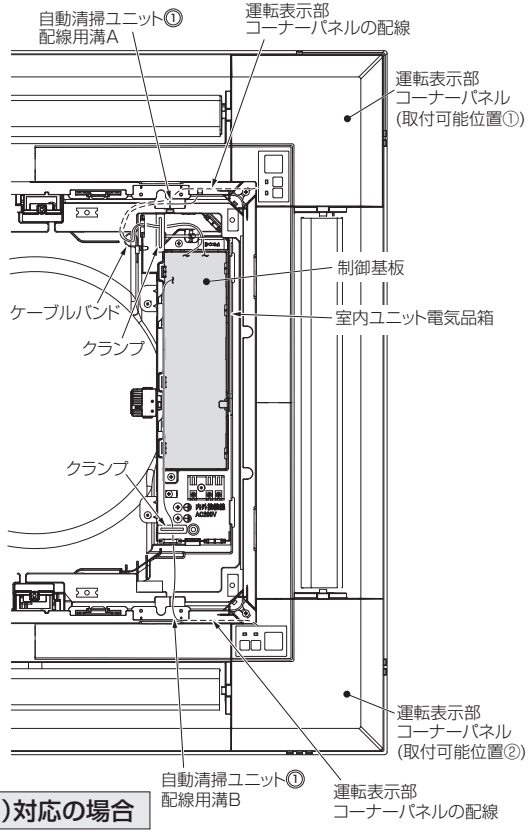
●運転表示部コーナーパネルをネジで固定します。

(2)取付可能位置②への取付けの場合

●運転表示部コーナーパネルの配線を室内ユニット本体制御基板のCN90コネクター（白色9極）に必ず接続します。

●配線はたるみの無いように自動清掃ユニット①の配線用溝 B に通し、室内ユニット電気品箱のクランプで固定します。

●運転表示部コーナーパネルをネジで固定します。



11. ワイヤレスリモコン（ユニット運転用）対応の場合

●ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。
特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。
（工場出荷時は室内ユニット側（受光部側）及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは"0"となっています）

●指定が必要な場合は、室内ユニット側（受光部側）の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

ワイヤレスリモコン側ペアナンバー設定	室内ユニット		
	スリムエアコンの場合(スリムKは除く) 室内制御基板のジャンパー線(J41,J42)を切断します	マルチエアコンの場合(スリムKを含む) SW22を設定します	
		SW22-3	SW22-4
0	切断せず	ON	ON
1	J41のみ切断	OFF	ON
2	J42のみ切断	ON	OFF
3～9	J41＆J42切断	OFF	OFF

11. ワイヤレスリモコン(ユニット運転用)対応の場合 のつづき

【ワイヤレスリモコンペアナンバーの設定操作】

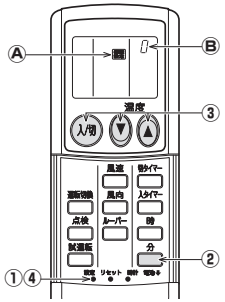
(工場出荷時は"(無し) [No. 0]")

①ボールペンなど先の細いもので(設定)ボタンを押してください。
Ⓐ 機種設定 が点滅します。

② 分 ボタンを 2 回連続押してください。
Ⓑペアナンバーが点滅します。

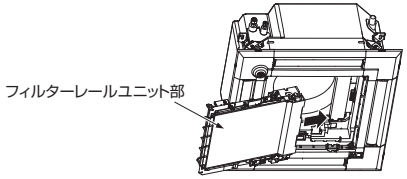
③▼、▲ボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
※操作を間違えた場合は、入/切 ボタンを押し、②の操作からやり直してください。

④ボールペンなど先の細いもので (設定) ボタンを押してください。
Ⓑペアナンバーが 3 秒間点灯してから消えます。

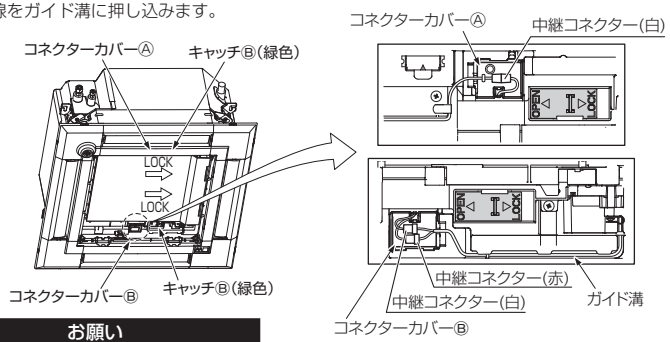


12. フィルターレールユニット部の取付け

●フィルターレールユニット部を図示向きで自動清掃ユニット①へ取り付けます。
※フィルターレールユニット部取付けの際に、中継コネクター及びリード線をはさまないように注意してください。



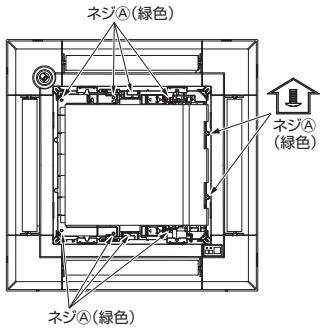
●キャッチⒷ(緑色)2 ヶ所を LOCK 方向へスライドし、フィルターレールユニット部を仮固定します。
●コネクターカバーⒶ内にて中継コネクター(白)と、コネクターカバーⒷ内にて中継コネクター(赤 / 白)を接続します。
リード線をガイド溝に押し込みます。



お願い

中継コネクターを確実に接続してください。
● 中継コネクターはカチッと音がするまで差し込みます。
※接続が不十分の場合、正常に動作しません。

●コネクターカバーⒶⒷを閉め、ネジⒶ(緑色)10 本で自動清掃ユニット①へ固定し、保護カバー(段ボール)をとりはずします。
※ネジⒶ(緑色)10 本を固定する際は、⬆ マークがあるネジⒶ(緑色)2 本を最初に固定してください。

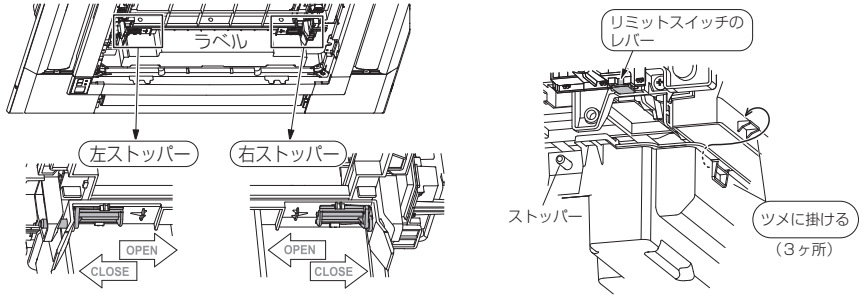


お願い

ネジⒶ(緑色)を締め付ける際にはトルク0.8～1.1N·mの範囲内で締付け、10本すべて固定してください。
● ネジの固定が不完全であると、正常に動作しない場合があります。

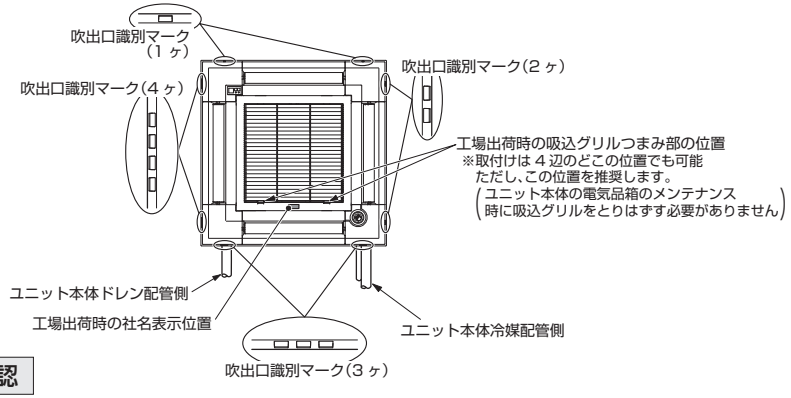
13. ダストボックス⑤の取付け

●ダストボックス⑤を自動清掃ユニット①に以下の手順で取り付けます。
1) ダストボックス⑤の穴 (3ヶ所) をツメ (3ヶ所) に引っ掛けます。
※リミットスイッチレバーへの引っ掛りに注意すること。
2) 左右のストッパー (2ヶ所) を"ＣＬＯＳＥ"の方向に"カチッ"と音がするまで差し込みます。
(ダストボックス⑤にも取付方法を記載したラベルが貼ってありますのでご確認ください)



14. 吸込グリルの取付け

●吸込グリルの取付けは、4. 取付前の準備　(2)化粧パネルⒷ の項と逆手順で行います。



15. 確認

●室内ユニット本体と自動清掃ユニット①と化粧パネルⒷ、化粧パネル⑥と天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると露たれや露付きの原因になります。

●配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと上下ベーンが動かない、また露たれや露付きの原因になります。

●ワイヤレスリモコン対応(別売)の場合、リモコンと室内ユニット本体のペアナンバーが合っていることを確認します。

●自動清掃ユニット①の動作確認をしてください。(フィルター自動清掃ユニット　取扱説明書 2.(3)を参照ください)
※自動清掃が動作しない場合は、8. 配線接続 、12. フィルターレールユニット部の取付け 、13. ダストボックス⑤の取付け の作業を再確認してください。

●ムーブアイセンサーパネルの場合、ムーブアイの回転動作を確認してください。
※ムーブアイが回転しない場合は、8. 配線接続 の作業を再確認してください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書等の一式すべてをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へ説明してください。

お願い

フィルターをとりはずしたまま運転をしないでください。
● 内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

お願い

試運転以外での長時間の運転はおやめください。
● 建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿 3-18-1 ☎(054)285-1111(代表)